

公務員コース履修系統図

モデル	目標	1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
共通教育科目	全モデル共通	情報リテラシーA キャリア開発A 数的処理 I A 日本国憲法		情報リテラシーB キャリア開発B 数的処理 I B 文章表現入門		判断推理(論理) 判断推理(図形) <行政職モデル> 数的処理 I B 人権の諸問題 資源エネルギーと環境 海洋と港湾 経済学		<行政職・教職モデル> 数的推理(数の性質) 数的推理(確率と図形) 資料解釈	
	演習	大学演習 A		大学演習 B		フィットネス実習 A		フィットネス実習 B トレーニング演習 A トレーニング演習 B	
専門教育科目	a 行政職	法学の基礎 財産法入門 日本の政治 戦後法制史		憲法概論 a-c[民法総論(概論)] a-b-c[刑法総論(概論)] 世界の政治 経済学入門		憲法学 I・II 公務員のための行政法 行政法総論 I 不動産と法規制 不動産登記法 契約と賠償 物権法概論 債権法概論 家族と法 行政学 I・II 会社法概論 労働基準法 政治過程論 I・II 国際政治学 I・II		行政法総論 II 地域政策 刑事政策 民法 I 民法 III 地域生活と法 環境の法と政策 NPO・NGO論 憲法学 III 社会保険法	
	b 警察官	法と政治に関する基本的専門的知識を体系的に理解する。 ・当事務所で発生する諸問題を理解し、法的判断・判断をもちこにして、多様な価値観や利害関係に適した解決案を考える力を獲得する。 ・グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を修得する。 <入門科目>初年度入門 法学の基礎 日本史、世界の政治、世界の政治などの入門科目の学習を通して、基礎的知識の獲得と、法学・政治学を学ぶ上での分野の理解への関心を高める。 <学部基本科目>憲法、民法、刑法を履修する科目を履修し、専門性を進めていく上での基本的な知識や技能、論理的思考方法を修得する。 <コース・モデル選択科目>法・政治に関する高度な知識を修得するため、個々の興味や希望の分野に進み、各コースのカリキュラム構成に合った科目選択から、各履修モデルに応じて、体系的かつ順次性のある学習を進める。		憲法概論 a-c[民法総論(概論)] a-b-c[刑法総論(概論)] 世界の政治 経済学入門		公務員のための刑事法 I・II 警察学入門 刑法各論(概論) 刑法 I 公務員のための憲法 家族と法 政治過程論 I・II 国際政治学 I・II		刑事政策 刑事裁判と法 21世紀日本の議会と行政 刑法 II	
教職関連科目	教職に関する科目	教職論		教育課程論 教育方法論 教育行政学 特別活動論 生徒指導・進路指導論 道徳教育の指導法 教育原理[通年] 教育心理学[通年] 社会科教育法[通年]		教育相談論		教育実習 I・II 教育実践指導論	
	教科に関する科目			ミクロ経済学 I・II マクロ経済学 I・II 社会経済学 I・II		地域政策 刑事政策 民法 I 地域生活と法 環境の法と政策 NPO・NGO論 社会保険法 21世紀日本の議会と行政		行政法総論 I 民法 II 環境訴訟法 雇用政策法 社会福祉法 21世紀諸外国の議会と行政	
Sコース		a-b-c-d[公務員基礎講座] a[宅建講座スタート・行政書士講座スタート]		a[公務員養成講座、宅建講座、行政書士講座] b-c-d[公務員養成講座]		a[国家一般・国家専門・地方上級講座、宅建講座、行政書士講座] b-c[教職試験対策講座]		a-b-c[公務員直前合同] b[教職試験対策講座]	
資格		全モデル【法学検定(12月第1日曜日)】		a[宅地建物取引士試験(10月第3日曜日)]		a[宅地建物取引士試験(10月第3日曜日)、行政書士試験(11月第2日曜日、自治体法務検定(9月第4日曜日)] b[柔道・剣道で初段以上習得]		c[乙種危険物取扱者第4類]	
学習目標		・法学・政治学分野の幅広い基礎的知識を修得する。 ・読み書きスキル、ICTスキル、分析しまとめ上げる、グループワーク力、プレゼンテーション力といった基本的な汎用能力を身につけるトレーニングを行う。 ・外国語力を伸ばす。 ・興味・関心に応じて、人文・社会・自然等の教養分野の知識を高める。 ・キャリアに関する意識を持つ。 ・興味・関心・将来の進路志向に適したコース、演習を選択するために、コース、演習内容について理解する。		・法学・政治学の専門的知識を拡充させる。 ・実践的・能動的な取り組みを通して、基本的な汎用能力のさらなる向上に努める。さらに、課題を発見する能力を向上させる。 ・キャリアに関する意識を高める。 ・公務員に求められる法的・政治学的基礎となる理論と知識を学習する。 ・行政、警察、消防、教育など志望先の組織に関する基礎的素養を修得する。 ・地域、行政、警察行政、消防防炎の現状と課題について理解を深め、法学部研究発表大会でその検討結果について発表を行う。		・法学・政治学の専門的知識を深め、体系的に理解する。 ・実践的・能動的な取り組みをさらに重ねて、課題解決案を考える能力を向上させる。 ・キャリアに関する意識を具体化し、行動する。 ・インターンシップに取り組む。 ・地域、警察行政、消防防炎の課題解決手法について理解を深め、法学部研究発表大会でその検討結果について発表を行う。 ・柔道・剣道で初段以上を習得する。<警察官モデル>		・卒業論文にかえて、法学部研究論文を書き上げる。 ・志望する公務員試験に合格する知識と能力を修得する。 ・目標とする進路を実現する。	

法学部 教職課程
(1) 初年度 1-10 2-10 3-10 4-10